

2013年度第4回

日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会・議事録（案）

日時：2014年 3月 1日 土曜日 11:45-12:25

場所：日本社会事業大学清瀬キャンパスC602教室

出席者（敬称略）：

大島 森田 荒井 岡部 小野 黒岩 小林 齊藤 佐藤 田嶋 原田 山田
渡邊 贄川

報告：

1. 各部会活動報告

- ・ホームページ・ニューズレター ・「社会福祉学評論」編集委員会 ・その他
→以下の議題の記録参照

議題：

1. 2013年度の関東部会研究大会の実施状況について

- ・日程：2014年3月1日土曜日、開催地：日本社会事業大学、実行委員長・贄川信幸
- ・記念講演：小原真知子先生
- ・シンポジウムテーマ：社会福祉学からの『発信力』（その2）
～社会にインパクトを与える社会福祉学研究とその方法論～
- ・研究奨励賞について
- ・各分科会の雰囲気
 - 小野先生：雰囲気は良かった。権利擁護のテーマ
 - 山田先生：それなりの意見交換ができた
 - 原田先生：K会場。しっかりした発表。オーディエンスが少なかったのが残念。
 - 小林先生：聴衆として参加。丁寧な発表だった。
 - 渡邊先生：活発な意見交換がなされていた。
 - 齋藤先生：内容は充実していた。
 - 佐藤先生：聴衆は3人。
- ・受付が70人近くの登録があったが雨模様で伸び悩んでいる。

2. 研究奨励賞の選考

松本望氏に奨励賞の贈呈を決定する。4人候補がいて1位と2位で大きな差があった。問題意識が鮮明で目的や論理の構築もシャープだった。後の議論の中で実践のモデル構築には課題がありそうだが、研究のスタートラインとして重要な文献研究・理論研究である。

3. 社会福祉学評論の投稿状況、編集・査読体制について

- ・時期を定めないと、投稿が伸び悩む点がある。時期を定めたことで、12月末締め切りで5本の投稿があった
- ・担当の編集委員を決めて査読の先生を決めていただくという体制ができつつある。

4. 広報関係の取り組みについて

- ・ニューズレターの発行(1月末)
- ・ホームページのアップと広報との関係強化に取り組んでいきたい

5. ホームページに関する課題

- ・メルマガとの連携が課題

→ホームページ情報更新の時にメルマガでお知らせできるようにしていくことが重要

6. 来年度の関東部会の運営、運営委員の選定など

- ・来年度の担当理事として、東洋大学高山直樹先生が選出された。
- ・運営委員候補：返事のない方はみなし継続とする。来年度の担当が難しい委員は後任を検討する。

【運営委員の位置づけ】

- ・3人以上会員がいる大学から1人ずつ選任、社会福祉協議会と社会福祉士会から1人
- ・大学ごとの担当になるが大学ごとだと毎年変わってしまう可能性もある
→熱意のある先生に継続的にかかわっていただけたらと考えている

7. その他

- ・次回の運営委員会の開催と今後の引き継ぎについて
→5月に総会があり、担当理事が交代する。
次回運営委員会は、4月下旬、あるいは5月上旬に引継ぎ委員会を開催したい

次回：2014年4月下旬もしくは5月上旬予定